

【令和4年度 玉園ハイム 事業報告】

令和4年度の事業について次のとおり報告いたします。

令和4年度の利用者平均人数目標		実績
施設入居者	月 48 名以上	46.93 人
短期入所生活介護	月 7 名以上	5.56 人
居宅介護利用者	月 35 名以上	介護 36.58 人+ 予防 17.67 人

令和4年度 事業計画

1. 人材確保と育成体制の確立
2. 事業継続のための人づくり
3. 利用者に喜ばれるサービス提供
4. 地域と協働した施設運営

職員の人材確保は、この数年課題になっております。応募や職員からの紹介が数件あったものの短期間での離職もあり事業計画通りの人員を確保できていない現状です。現在、日中の人員を確保するために、勤務形態の見直しを推進しているところです。育成に関して、人員不足から指導者クラスを育成する余裕もなく又コロナ禍による研修の中止などにより、各職員のスキルアップが停滞しております。ユニットリーダー研修では、現在1名のリーダーが受講しておりますが、令和4年度での座学を経て、令和5年5月に受入れ施設での実習を終えることができました。

介護労働災害予防として福祉機器導入は、令和4年度施設内全体研修会で福祉機器（移動用リフト）を実際職員に使用できる場面を作り活用を目指しましたが、施設内感染症発症により職員が一堂に集まる研修を中止した為、導入の足掛かりを作ることができませんでした。令和5年度6月予定での全体研修会において再度本機器導入の足掛かりを整え、負担軽減が図れるよう整えてまいります。

各ユニット単位ではありますが、毎月誕生会や季節にあわせて行事を実施しております。ユニットを越えた関りとしてサロンの実施も行い、いつもと違う多床室では顔なじみであった方と出会える機会を定期的に設けることもユニットリーダーの提案で実施致しました。又、各ユニットで委員を設け、施設内での運動会も実施し楽しんでいただける時間を過ごしていただきました。令和5年度には、皆様にご臨席いただけるような行事を開催したいと考えております。

今年度、4名のご入居者が当施設の看取り介護をご希望されました。医療機関入院中であっても施設での看取りを希望されるご家族様が近年増えている状況を感じております。現在、面会は窓越しでお願いしておりますが、看取り介護時にはご入居者の容態を確認しながら会議室、居室での面会を実施させていただいています。定期的な看取り介護期の会議等ではご家族様にご様子をお伝えしながら、面会により触れ合っただけの機会を設けました。また、容態が変わられた際に連絡を取るこ

とで、施設にお越しいただき、最後をご家族と迎えられたご入居者も多く、ご家族からねぎらいの言葉と感謝をいただきました。今後も看取り介護を推進し、ご入居者ご家族の要望に沿った支援を提供いたします。

地域との関りは、コロナ禍において会議等の開催も中止となり、ボランティア様が施設に入っていない中で、日赤奉仕団様には外周の草刈り、窓拭き、車いす洗浄など外で行っていただける作業に参加いただきました。近年、日赤奉仕団様も高齢化し、現状のような環境整備に参加いただくことが難しい地区もあるようです。施設にご家族が面会できるようになれば、ボランティア様にも施設内に入ってください、ボランティア様の希望と施設の受け入れ方等協議し活動いただきます。

短期入居生活介護において、積極的な受け入れを行い各家族様の介護負担が軽減できる支援を予定しておりましたが、コロナ感染症の流行により他介護サービスで感染し、当サービスを利用中に発症、利用者職員に感染拡大し事業の縮小、休止をしなければ得ない状況がありました。感染発生時には、協力病院の東近江敬愛病院理事長、感染対策担当者へ相談し助言を受けると共に保健所とも連携し対応してまいりました。

居宅介護支援事業では、数年来より介護支援専門員を募集しており、現在の介護支援専門員が積極的にご利用者を受入れてくれました。令和5年には、非常勤ですが介護支援専門員を採用し2人体制でより地域に根ざした事業ができると考えます。

令和4年度では、新型コロナウイルス感染症により近隣施設では、数十名のクラスター発生を認めました。当施設でも5回の新型コロナウイルス感染症発生を認めました。感染より軽快される方が多い中、8月に陽性となったご入居者1名が医療機関での療養中にご逝去されたことは、悲しみと衝撃であり申し訳なく感じております。令和5年5月8日には感染症法5類へ移行しましたが、高齢者等ハイリスク者への感染は注意が必要で、介護現場では継続した対策が推奨されています。入所系においては入居者、職員の発症があれば県への報告が必要など、大きな変化はない状況です。現在、濃厚接触者の定義が解消されたことで、利用者の受け入れや職員の出勤状況など検討すべき事項が増えています。今後、感染対策は継続しつつご利用者が喜んでいただける事業運営を継続いたします。

以上